

特集

- ・ J G A S 2009
- ・ たかさき産業祭
~ものとぴあ~

J G A S 2009

暦も師走となり、何かと気ぜわしい昨今、皆様いかがお過ごしでしょうか。仕事も忙しいながら、忘年会や新年の準備などもあり、体調も崩しやすい時期でもあります。今年は特に、皆様ご承知の通り新型インフルエンザもありますので、ますます体調管理に油断のならない年の瀬です。

さて、去る10月6日から行なわれたJGASに行ってきました。一昨年開催されたIGASに比べると、規模や機材の量で、見劣りする感じがしたことは否めないと思います。

見学に行った印象として感じたことがいくつかありました。まず、ハイデルベルグさんで印刷機の実機がなかったこと。同日、ハイデルベルグさんの本社で見学会を開いているというのは少し驚きました。

次にオンデマンドの機材が多かったという印象を受けました。私は、初日に行きましたが、オフセット印刷機のプレゼンテーションよりも、オンデマンド印刷機のプレゼンテーションのほうが見学する人が多かったように思います。特に、富士フィルムでプレゼンしていた、キク半印刷に対応し、一時間当たり2,700枚を出力するインクジェット印刷機(参考出品)には多くの見学者が集まっていました。

その他にスペースを取っていたのは製本機のメーカーでした。オフ輪印刷機が一台も展示されていないことなどもあり、オフセット印刷機のスペースは大分狭かったです。

小さいブースには中古の印刷機の売買業者や、海外進出への斡旋をする業者などもあり、IGASにはなかった雰囲気を感じました。

その中で、私が注目したのは「UD(ユニバーサルデザイン)書体」です。モリサワさんのブースで見受けました。以前、このニュースレターでもUDについては触れたことがあります。その時はカラーUDに関してでした。そんなこともあって、「今度は書体にもか」と気になったのです。改めて、UDとは、1.公平な利用、2.利用における柔軟性、3.単純で直観的な利用、4.認知できる情報、5.失敗に対する寛大さ、6.少ない身体的な努力、7.接近や利用のためのサイズと空間、といった7つの原則を満たす、「あらゆる人にとって使いやすいデザインである」という考え方です。今回のUD書体で言えば「あらゆる人にとって読みやすい字である」ということになると思います。

皆さんは、Webや細かい文字などで「これって「`」か「°」か?」とか「6?8?5?」と目を細めた経験はないでしょうか?私は度々あります。手書きした字などはもっとあって、殴り書きした文字だと、後で読み返しても分からないことも。そういったことも、UDによって解決されていくのでしょう。カラーUDやUD書体など、受け取る側へ気遣う姿勢は、これからも広がっていくと感じました。それは、普段の私たちのお客様への接し方にも深く関わる事なのだと思います。
(K)

皆様のご愛顧のお陰で、小紙も30号を迎えることが出来ました。今後も皆様の興味を引けるような紙面づくりに努めたいと思います。

今後ともよろしく願いいたします。

スギウラ株式会社
営業部 営業一課
〒370-0006
高崎市問屋町 2-2-8

電話番号
代 表
027-361-5808
営業一課
027-361-5734

Fax
027-361-1272

当社 Web サイト
www.kamisugiura.co.jp

お気付きの点や質問、
疑問などありましたら、
ご遠慮なく営業または、
下記までお問合せくだ
さい。

お問合せ
メールアドレス
sg-arai-yoshio
@kamisugiura.co.jp

たかさき産業祭～ものとおびあ～

去る11月7日～8日、高崎問屋街センターにおいて表題の「たかさき産業祭～ものとおびあ～」が開催されました。この催しは、以前の工業祭から産業祭へと名前を変え、広く製造業全般に門戸を広げて、今回で4回目になります。

実際に出かけてみますと、家族連れがとても多く来場しており、かなりの賑わいでした。子供向けのイベントや展示が多く設けられていたのが奏功したのだと思います。

イーケーエレベータ(株)は業務用(人は乗せない)エレベーターを作る会社ですが、実際に小さいエレベーターを持ち込んで、子供たちに操作させて人気を博していました。近年相次ぐエレベーター事故で官庁の指導も厳しく、法律も改正されて、安全性をアピールするのに腐心しているようでした。

東京電力(株)では、電気コンロを使って野菜炒めを作っていました。

(株)サイトウティーエムでは、産学協力企業である(株)リアライズコンピュータエンジニアリングと一緒に、一人乗り小型電気自動車(マイクロEV)を出展していました。最高速度は60km/h以上、航続距離は80～100km、車体重量は脅威の150kg。ボディやシャーシにマグネシウム合金等を使って軽量化された結果のスペックです。参考出展なので、残念ながら乗ることは出来ませんでしたが、近未来的なフォルムも目に眩しい、やがて来るかもしれない電気自動車社会への布石と言えましょうか。

マクロ(株)は、コンパクトシンクライアントの展示を。これはつまりPC本体の代替品のようなもので、本体1台買うより安く小さく、またそれ自体は記憶装置を持ちません(記録は全てサーバ内に収められる)。もし本体を盗まれても情報流出の心配がないため、学校をはじめ、ユーザー数の多いとこ



ろで評価が高まってきているということでした。

(株)モテキではガスを使った家庭用燃料電池の説明がされていました。燃料電池それ自体はいまや珍しいものではありませんが、それを家庭用に販売したというのは世界初だそうです。政府補助金を使ってもまだまだ設備費用はかかるのが現状ですが、数年のうちには手の届く価格まで下げることが目標にしています。

以前小紙で紹介したフォトバタフライもありました。卓上カレンダーや写真立て、POPなどに幅広く使える商材なので、ぜひ今一度のご注目をお願いしたいと思います。

ほかにも薪ストーブ、靴、産業用焼却炉、ラリーカー、健康食品、乗用車、畳、弁当、デジカメプリント、荷札などなど・・・。

こうして見てみますと、軽工業から重工業まで実に様々な展示がされていたのがお分かりになるかと思えます。不況と言われて久しいですが、その中で様々な会社が知恵を絞って商品を作り出し、産業を盛り上げようとしているのが良く分かりました。

個人的には、ご近所の会社が、何をやっている会社なのか知ることが出来たのも収穫でした。

